たびえもんは旅のチカラでみんなの夢をかなえる会社です！

TABIEMON

たびえもん通信
第１３５号
2023年６月１日発行

今月のなぞなぞ

Q. ヨーロッパのとある観光名所、
夕飯のシチューに入れる食材に
困ったら、そこに探しに行くんだって

たびえもん　検索
Web: https://tabiiku.org

たびえもん旅の思い出

ヒロシマに草木は生えているか？の巻

先日広島でＧ７が開催。日米英仏独伊加のほかインド、ブラジルなど１６か国が参加、原爆資料館や厳島神社を訪れた様子が大きく報道されました。

政治的な成果については賛否あると思いますが、世界の首脳が被爆地に集まった意義は少なくないでしょう。

かれこれ２０年前に自転車で世界を旅していたとき、僕が日本人だと分かるたび言われることがありました。

カラテ、ニンジャ、トヨタ、ニンテンドー、そしてヒロシマ。

首都の東京以上に有名な日本の都市が広島でした。ヒロシマを知らない人はいなかったと言っても過言ではありません。アトミックボム、世界中の子供が学校で習っているのでしょう。

ただその知識には大きくずれがあって、ザンビアだったかアフリカの片田舎で「今ヒロシマには草木は生えているのかい？」と問われたことも。

「ここよりずっと都会だよ」苦笑しながら、日本の遠さを感じたものです。

サミットをきっかけに、広島へ来る世界の人も増えるでしょう。足を運んで、自分の目で見て、考える。平和につながるといいですね。（ふねしゅー）

たびえもんの日常を旅して

令和の運動会の巻

先月は職場の中学校で運動会がありました。運動が苦手な生徒も楽しめる競技やケガのリスクを考慮した安全第一の競技が中心で、勝て勝てと煽る応援団もいません。練習の成果をぶつける日というよりはレクリエーション大会に近く、のどかな雰囲気でした。

私が中学生だった頃の運動会は、まず入場行進の特訓。一糸乱れぬ行進を目指して何度も繰り返し、わずかでもずれると先生に怒鳴られ、気が遠くなっていました。運動が苦手な私は応援席の背後に立てる看板を描く役をいち早く買って出て、何とか居場所を確保していました。しんどかったなあ。

そんな重苦しさはみじんもない令和の運動会で生徒達が最も盛り上がったのは、なんと古典競技のリレーでした。それも選抜リレーではなく、全員リレーです。不登校だった子、授業中いつも寝ている子、喧嘩ばかり起こす子、どいつもこいつも死に物狂いで走り、バトンを繋ぐ競技に全員総立ちで声援を送っていました。涙ぐむ人もちらほら…今も昔も、勝っても負けても、人は真剣勝負に心を動かされる生き物のようです。（ごっちん）

なぞなぞの答え

A. グエル公園（具・得る公園）
スペインのバルセロナにある
ガウディが設計した公園。
彼が住んでいた家も残されているよ。

株式会社たびえもん
東京都練馬区練馬２丁目 29－29
旅行のお問い合わせはお気軽に！
Tel: 03-6914-8575

東京都知事登録旅行業
第３－６５２３号
全国旅行業協会正会員

◇今後１年以内に「海外旅行に行く」は、20 代の男性が最多

　ＪＴＢ総合研究所が実施した調査によると、今後１年以内に海外旅行に行くと回答した人は全体の 14.1%。最も高かったのは 20 代男性（28.7%）、ついで 20 代女性（27.6%）、そして 30 代男性（22.4%）の順だったそうです。
　コロナの空白の比重は若い世代のほうが大きいので、その反動もあるとは思いますが、以前から言われていた若者の旅行離れ、内籠りの傾向というのは、すでに過去の話なのかもしれません。
　やや意外だったのは女性よりも男性のほうが積極的なこと。従来海外旅行は女性が牽引している側面が強かったので、かつての旅好き 20 代男子としては、新たな潮流を嬉しく思います。
　百聞は一見にしかず。ぜひ日本を飛び出して、世界を体感してきてください！

☆参考記事／今後１年以内に「海外旅行に行く」は 14%、20 代男性が最多
　https://www.travelvoice.jp/20230526-153549

◇水際対策終了！　夏～秋のおすすめプランご紹介

　先日のＧＷから日本の水際対策が終了、同じくワクチン証明などの条件を残していたアメリカも「完全開国」し、アメリカ本土はもちろん、ハワイや、乗り継いでの中南米方面も行きやすくなりました。
　コロナ前の出入国条件に戻した国は、すでに世界の 150 か国以上、規制を残している国のほうが少数になっています。久しぶりに海外へ行きたいとお考えのみなさまに、夏～秋のおすすめプランをご紹介します。

★モロッコとサハラ砂漠の旅
　https://tabiiku.org/travel/middleeast-africa/morocco01/
　アフリカ大陸の北西に位置するモロッコ。古くからイスラム文明が栄え、距離的にヨーロッパも近いため、見どころが多く、観光もしやすい国なんです。迷路のような街並み、圧倒的な砂漠の景観、いざ魅惑の旅に出よう。

★歴史と芸術の旅～中欧３か国
　https://tabiiku.org/travel/europe/czech-austria-hungary/
　人気の秘密は何と言っても歴史を感じさせる美しい街並み。昼間は世界遺産の街歩き、夜は優雅に音楽鑑賞。伝統のピルスナービールを味わったり、ブダペストの温泉体験もいいですね。人それぞれの楽しみ方があるんです。

★ド迫力！北米の大自然を巡る
　https://tabiiku.org/travel/america/northamerica01/
　カナディアンロッキー、グランドキャニオン、ナイアガラの滝など、北米大陸の大自然を満喫するプラン。ニューヨークやロサンゼルス、あるいはトロントなど、都市観光をプラスすることも可能です。

☆コロナ後の海外旅行いつから？　出入国条件は？
　https://tabiiku.org/travel/interflight-after-coronavirus/

☆海外旅行の無料お見積依頼
https://tabiiku.org/ryoko/mitsumori/jform.php

◇【８月限定！セブ島ジュニアキャンプ】子供だけの海外「旅育」体験♪

2023 年の夏休み、かけがえのない体験に、ぜひチャレンジしてみませんか？
セブ島留学ジュニアキャンプは、親と離れて 15 泊 16 日間を過ごします。フィリピン人の先生たちと生活。日本語の通じない世界、共通語は英語です。
ジュニアキャンプは自立をするのに最適な場所でもあります。時には辛かったり泣き出す生徒もいますが、必ず最後には明らかな成長をして笑顔で帰っていきます。参加の日本人同士も仲良くなり、初めて出会った相手が一生の友達になります。
コロナの３年間を挟んで、2019 年以来の催行。詳しくは下記。

☆ジュニアキャンプ in セブ島（8/02～17）
https://tabiiku.org/travel/english-homestay/202308-ceb-juniorcamp/